

# 日本道路生物多样性行動指針

## 基本理念

日本道路は自然に学び、自然を活かし、将来に渡って「道からはじまる街づくり」を推進する企業であり続けるため、生物多様性の価値と保全の大切さを理解し、次の世代がその恩恵にあずかることができるよう、ここに4つの行動指針を定め、持続可能な社会づくりに貢献します。

## 行動指針

### ----- 事業活動を通じた行動 -----

#### 事業全体

1. 当社グループのすべての事業活動において、生物多様性に与える影響を最小限に抑えるため、環境マネジメントシステムを活用し、積極的に生物多様性の保全に努めるとともに評価と改善により、より一層自然環境との持続可能な共生を図ります。
- 建設事業において、工事場所を含む地域の自然環境への影響を少なくするための工法を提案し、生物多様性に配慮した施工を行います。
- 製造・販売事業において、立地周辺の自然環境の影響を把握し、生物多様性に対する影響が懸念される場合は、回避・低減の策を講じ、共生を図ります。
- 生物多様性に配慮し、その保全・回復にかかわる技術・製品の研究開発を推進します。

### ----- 企業市民としての行動 -----

#### コンプライアンス

2. 大気・土壌・水等の環境に関わる法令はもとより、生物多様性に関わる法令、地域との約束を順守します。

#### コミュニケーション

3. NGO・NPO、環境関連団体、地域社会とのコミュニケーションを図り、生物多様性の保全活動に積極的に協力します。

#### 教育・啓発/情報開示

4. グループ役職員、協力会社を含めて、生物多様性への配慮を周知・徹底するとともに、積極的な社内外への情報発信を行います。

2020年12月制定

道からはじまる街づくり

